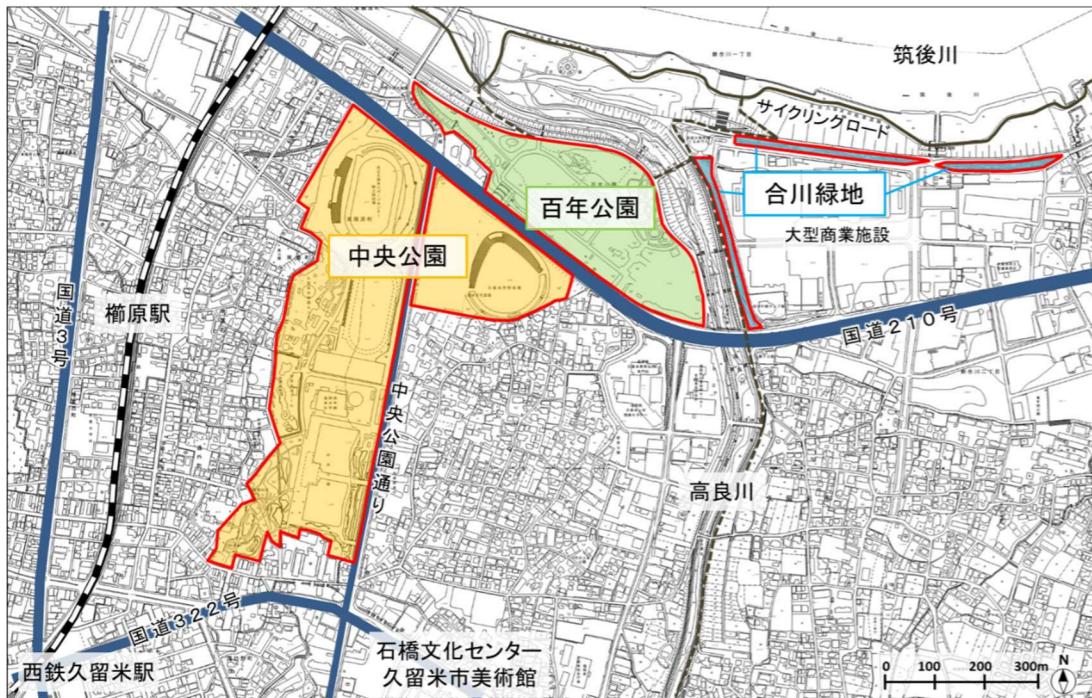


百年公園等における民間活力導入に関する実施計画

(1)目的

本計画は、官民連携により効果的、効率的に公園の魅力の強化や賑わい創出を図るため、百年公園、合川緑地、中央公園における民間活力導入の考え方や民間事業者公募に向けた事業方針をとりまとめることを目的としています。

(2)各公園の現状



百年公園

久留米つづじをはじめ四季の花々が咲き、筑後川に近接する自然豊かな公園。週末には多くのイベントが開催される。

[年間イベント利用者：約 50 万人]



合川緑地

桜並木を有し筑後川に隣接する、自然豊かで良好な眺望が得られる緑地。筑後川では水辺空間活用の実証実験が行われている。



中央公園

運動施設、文化・レクリエーション施設、広大な芝生広場と施設が多様な公園。大会やイベント時には市内外から多くの来園者が訪れる。

[年間施設利用者：約 100 万人]



(3)民間活力導入の方針

本エリアでは、以下の方針に基づく、民間活力導入を図ります。

①立地環境や多様な公園施設のポテンシャルを活かした魅力の強化

②都市の緑とオープンスペースを活用した市民サービスの向上

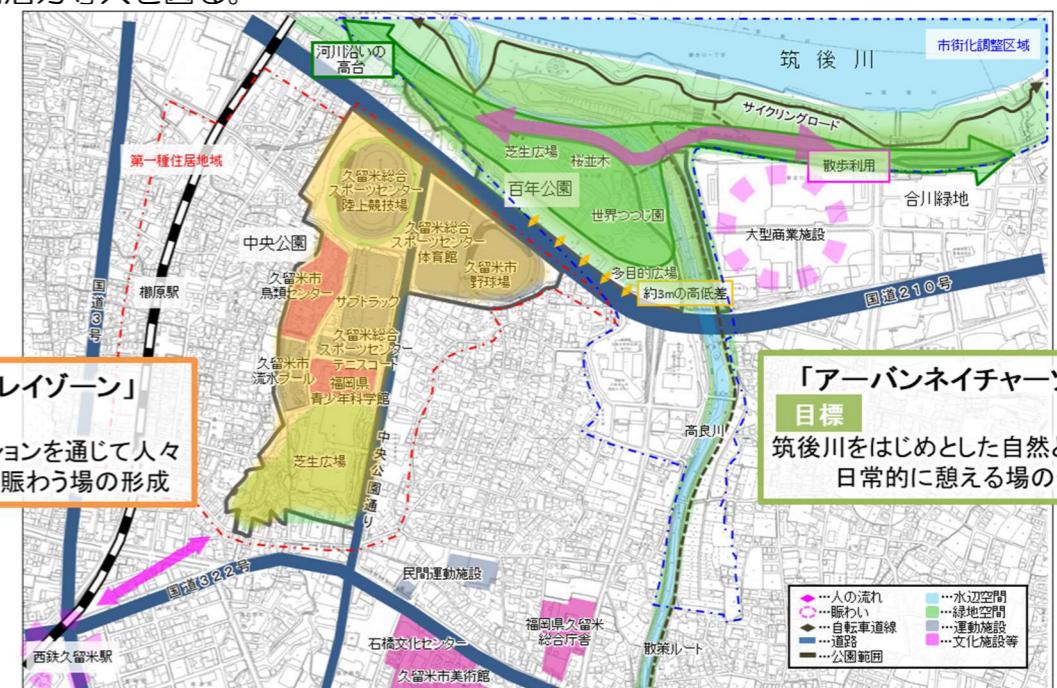
③官民連携による公園施設の機能向上

④まちづくりへの波及効果及び継続性の高い事業の導入

⑤効果的で持続的な管理運営を見据えた事業スキームの構築

(4)百年公園周辺エリアのゾーニング

公園の特徴、利用状況等を踏まえ、2つのエリアとしてゾーニングを行い、ゾーンの特徴を活かした民間活力導入を図る。



「アーバンプレイゾーン」

目標

多様なレクリエーションを通じて人々が広域から集まり賑わう場の形成

「アーバンネイチャーゾーン」

目標

筑後川をはじめとした自然とふれあい日常的に憩える場の形成

(5)民間活力導入スケジュール

以下のスケジュールにて、R2年度より段階的に公募を開始予定



6-1. 百年公園への民間活力導入の事業方針

(1) 民間活力導入の考え方

□アーバンネイチャーゾーン

目標：筑後川をはじめとした自然とふれあい、日常的に憩える場の形成

□百年公園の設置目的

市民に多様な憩いと集いの場を提供し、市民の健康増進及び生活文化の向上を図る。

□現状

- 四季折々の花や桜並木を有している。
- 多目的広場では休日を中心イベントが開催され、賑わっている。
- 隣接する筑後川河川敷では、自然を楽しみながら健康づくりができる環境がある。

□利用者意見

- 自然に恵まれ、快適に過ごせる環境である。
- 散歩等で日常的に利用している。
- 土日のイベントを目的に訪問している。
- 休憩する場所が少ないため、通過するのみとなっている。

(3) 民間活力導入イメージ



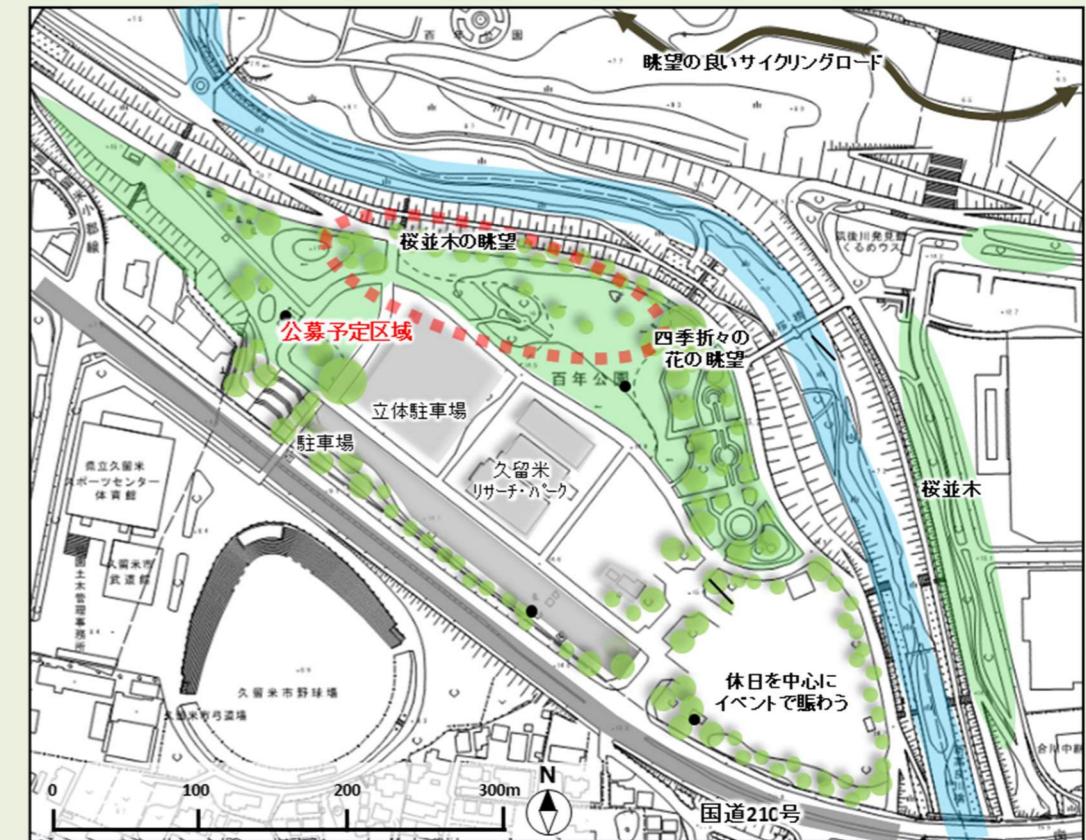
飲食施設（カフェ等）の整備



健康増進に資するイベント開催



休養施設の整備



※本写真・図面はあくまでもイメージです。

(2) 事業の実施方針

百年公園の民間活力導入の考え方に基づき、公園の魅力強化と賑わい創出を効果的・効率的に行うために、官民で連携して事業を行います。民間活力導入にあたっては民間事業者を募集して実施する予定であり、募集の内容は次を想定しています。

事業手法	公募設置管理許可 (Park-PFI)		
事業期間	20年以内		
魅力強化事業	公募対象公園施設	必須 飲食施設（カフェ等）	公募対象公園施設 【管理許可／減免】 【建築面積: 500m ² 以内】 【設置管理許可／3,600円/m ² ・年】
	公募施設	任意 健康増進に資する施設	
	費用負担	設置・管理運営とも民間事業者（独立採算型）	
特定公園施設	提案施設	必須 休養施設	
		任意 その他公園施設	
	費用負担	設置・管理とも民間事業者（公募施設の収益を活用）	
賑わい創出事業	提案事業	公募施設との連携による、緑とオープンスペースを活用した健康増進等に資するイベントや体験教室等の開催	都度利用【使用許可／減免】 常時利用【管理許可／減免】
	費用負担	民間事業者	凡例:【許可種別／民間事業者の使用料負担】



※百年公園は市民公園のため都市公園法に基づく Park-PFI 制度の対象ではありませんが、準拠するものとして扱います。

6-2. 合川緑地への民間活力導入の事業方針

(1) 民間活力導入の考え方

□アーバンネイチャーゾーン

目標：筑後川をはじめとした自然とふれあい、日常的に憩える場の形成

□合川緑地の設置目的

水辺・自然とのふれあい、憩いと安らぎの場の形成を目的とし、市民の健康増進とクリエーションの場の提供を図る。

□現状

- 桜並木や筑後川に囲まれ、自然が豊かで、優れた眺望を有する。
- ベンチ以外に人々が憩える場がない。
- 筑後川を活用した実証実験が実施される等、水辺空間が活用されている。

□利用者意見

- 四季の花々や筑後川等の自然に恵まれ、快適に過ごせる環境である。
- 散歩等で日常的に利用されている。
- 休憩する場所が少ないため、滞在ではなく、散歩や通過での利用となっている。

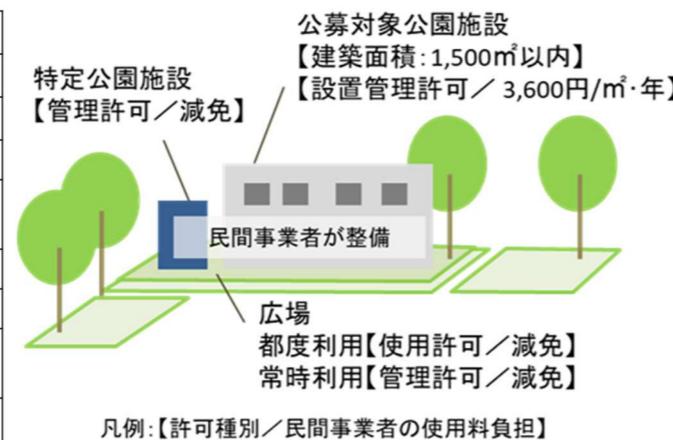
民間活力導入の考え方

- 筑後川の眺望をはじめとした豊かな自然を楽しみながら憩える施設の整備
- 水辺空間利用者の利便性向上のための休養施設やトイレ等の整備
- 桜並木や筑後川等の自然環境を活用したイベント等の導入

(2) 事業の実施方針

合川緑地の民間活力導入の考え方に基づき、公園の魅力強化と賑わい創出を効果的・効率的に行うために、官民で連携して事業を行います。民間活力導入にあたっては民間事業者を募集して実施する予定であり、募集の内容は次を想定しています。

事業手法	公募設置管理許可 (Park-PFI)		
事業期間	10年以内 (更新可)		
魅力強化事業	公募対象公園施設	必須	アウトドア施設
	公募施設	任意	河川空間を活かせる公園施設
	費用負担	設置・管理運営とも民間事業者 (独立採算型)	
賑わい創出事業	特定公園施設	必須	①トイレ
	提案施設	任意	②その他公園施設
	費用負担	民間事業者負担あり (トイレ整備費等の費用の一部を市も負担)	



(3) 民間活力導入イメージ



アウトドア施設



自然環境を活かしたイベント開催



トイレの整備



※本写真・図面はあくまでもイメージです。

6-3. 中央公園への民間活力導入の事業方針

(1) 民間活力導入の考え方

□アーバンプレイゾーン

目標：多様なレクリエーションを通じて、人々が広域から集まり賑わう場の形成

□中央公園の設置目的

多様なスポーツ・レクリエーション拠点として、広域からの利用を図る。

□現状

- ・多様な運動施設や文化・レクリエーション施設を有する。
- ・運動施設では各種大会が開催され、市内外からの利用がある。また、レクリエーション施設は子供連れが多い。
- ・芝生広場があまり活用されていない。

□利用者意見

- ・緑に囲まれた快適な環境である。
- ・散歩や運動施設の利用による来園が多い。
- ・目的とする施設だけの利用が多い。
- ・日陰で休憩できる場所や食事をとれる場所が少ない。
- ・駐車場が少なく、混雑している。

(3) 民間活力導入イメージ



飲食施設（カフェ等）の整備



レクリエーション機能向上



駐車場の整備



※本写真・図面はあくまでもイメージです。

(2) 事業の実施方針

中央公園の民間活力導入の考え方に基づき、公園の魅力強化と賑わい創出を効果的・効率的に行うために、官民で連携して事業を行います。民間活力導入にあたっては民間事業者を募集して実施する予定であり、募集の内容は次を想定しています。

事業手法	公募設置管理許可 (Park-PFI)		
事業期間	20年以内		
魅力強化事業	公募対象公園施設	必須	飲食施設（カフェ等）
	公募施設	任意	レクリエーション施設 その他、公募施設や既存施設と連携可能な施設
	費用負担	設置・管理運営とも民間事業者（独立採算型）	
特定公園施設	提案施設	必須	①駐車場、駐輪場、トイレ
		任意	②その他公園施設
	費用負担	民間事業者負担あり（駐車場、トイレ整備費等の一部を市も負担）	
賑わい創出事業	提案事業	公募施設との連携による、緑のオーバーラップを活用したイベントや体験教室等の開催	
	費用負担	民間事業者	

